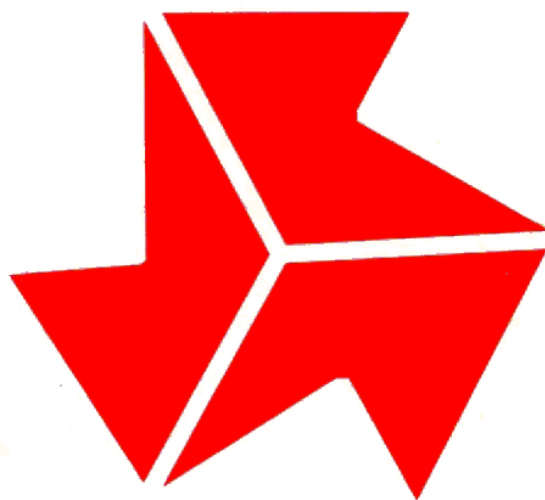


第63回 中国高等学校登山大会 実施要項（改訂版）

期 日 令和5年10月27日（金）～10月29日（日）

会 場 鳥取県八頭郡若桜町 氷ノ山一帯



主 催 中国高等学校体育連盟・鳥取県高等学校体育連盟

後 援 若桜町・若桜町教育委員会・鳥取県教育委員会

主 管 鳥取県高等学校体育連盟登山専門部・鳥取県山岳・SC連盟

大会日程

第 1 日	10 月 27 日 (金)	受監督・リーダー会 開登山会隊審 登諸 付議式 成査	高原の宿氷太くん 体育館 高原の宿氷太くん 研修室1 高原の宿氷太くん 体育館 高原の宿氷太くん 体育館	12:10～13:00 13:15～13:45 13:50～14:20 14:20～14:40 15:00～19:00
	就	寝	自然観察・救急・気象：体育館 天気図：高原の宿氷太くん研修室1	20:50
日	宿泊地	高原の宿 氷太くん		
第 2 日	10 月 28 日 (土)	地点名	男子	女子
		起床、朝食 引継式 氷太くん多目的グラウンド 仙谷登山口1 自然探勝路分岐1 三ノ丸（CP1） 氷ノ山山頂 氷ノ山越（CP2） 氷ノ山登山道入口 仙谷登山口2 自然探勝路入口（CP3） 自然探勝路分岐2 三ノ丸コース登山口下部（G） （チームごとで氷太くんへ移動） ※車道を横切る際は十分に注意してください 氷太くん多目的グラウンド	4:50 6:10 6:30 8:20(規定) 8:40(制限) 9:50(規定) 10:30(制限) 10:50(規定) 11:50(制限) 12:20(規定) 13:30(制限) 13:50～14:00	5:00 6:40 7:00 9:10(規定) 9:30(制限) 11:00(規定) 11:40(制限) 12:20(規定) 13:40(制限) 14:00(規定) 15:30(制限) 15:50～16:00
日	宿泊地	高原の宿 氷太くん		
第 3 日	10 月 29 日 (日)	起床、朝食 集 合 講 演 閉 会 式 解 散	高原の宿氷太くん 体育館 高原の宿氷太くん 体育館 高原の宿氷太くん 体育館	7:00 8:50 9:00～10:00 10:10～11:00 11:00
		就	寝	22:00

1. 期日・会場

(1) 開会式

令和5年10月27日(金) 13:50～14:20
高原の宿氷太くん 体育館
(鳥取県八頭郡若桜町つく米 635 - 13 TEL 0858-82-1111)

(2) 競 技

令和5年10月27日(金) 14:20 開始
令和5年10月29日(日) 8:50 終了
会 場： 鳥取県八頭郡若桜町 氷ノ山一帯
地 図： 地形図 1:25,000 地形図 「氷ノ山」

(3) 閉会式

令和5年10月29日(日) 9:00～10:00 高原の宿氷太くん 体育館

(4) 諸会議

◎審査委員会

令和5年10月26日(木) 16:00～ ヒュッテ白樺
(鳥取県八頭郡若桜町つく米 631-29)
令和5年10月27日(金) 8:30～ ヒュッテ白樺

◎専門委員長会議

令和5年10月27日(金) 12:00～ 高原の宿氷太くん研修室1
令和5年10月29日(日) 7:00～ 高原の宿氷太くん研修室1

◎監督・リーダー会議

令和5年10月29日(金) 13:15～13:45 高原の宿氷太くん体育館
その他 必要に応じて適宜実施

◎行動役員会議

令和5年10月27日(金) 17:00～ 高原の宿氷太くん研修室1

(5) 登山コース(… 登山行動【全行程 チーム行動】)

A隊(団体男子)、B隊(団体女子) 共通

氷太くん駐車場(スタート)…三ノ丸コース登山口…三ノ丸(CP1)…
氷ノ山山頂…氷ノ山越(CP2)…仙谷コース登山口…自然探勝路入口(CP3)
…自然探勝路分岐…三ノ丸コース登山口(ゴール)…氷太くん
(※ゴール地点から氷太くんまでは各チームで移動)

2. 競技規則・方法

- (1) 登山コースは、団体男子、団体女子に1コースA・Bを設ける。
- (2) 選手は必ず監督が引率し、監督は選手の行動に対し責任を負う。
- (3) 大会期間中の疾病・負傷等の応急処置は主管者の方で行うが、上記(2)による。
- (4) 日程およびコースは別に記す。ただし、天候その他でコースを変更することがある。
- (5) 大会の審査は令和5年度中国高等学校登山大会成績評価基準に則って行う。
- (6) 各課題テストにおける具体的な範囲については、予報第1号で連絡する。
- (7) 3人パーティーのうち1名は、**気象課題テスト**と**救急課題テスト**の2つを受けること。
- (8) 行動記録書は大会事務局で用意したものを使用することとする。

3. 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 選手は、各県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、当該競技専門部に登録し、各県の予選により中国大会の参加資格を得たものとする。
- (3) 平成17(2005)年4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場は過去の同一大会3回以内とする。
- (4) パーティーの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同パーティーによる参加を認める。
- (6) 転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない（外国人留学生もこれに準じる）。但し、一家転住などやむを得ない場合は、各県高等学校体育連盟会長の許可があれば、この限りでない。
- (7) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例
 - ア. 上記の(1) (2)に定める生徒以外で、(3)～(7)の大会参加資格を満たし、かつ、各県高等学校体育連盟が推薦する生徒を、中国高等学校選手権大会開催基準要項の別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ. 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

4. 参加人員

- (1) 各県ともに団体男子3パーティー、団体女子3パーティー、男・女それぞれ1校につき1パーティーとする。
- (2) 1パーティーの選手は4人とする。部員不足の理由で4人でパーティーが組めない場合は各県の参加枠内で3人パーティーでの出場を認める。ただし、同一校から男女それぞれのコースに2つのパーティーを出すことはできない。
- (3) 各パーティーには監督（引率責任者）1人をおき、各県には総監督1人をおく。いずれも高等学校教員であること。

5. 参加申込

(1) 仮申込

9月22日（金）までに申込みの情報（学校名・A B別・監督名・選手名・学年）を各県専門委員長がまとめ、申し込むこと（電子メールまたはFAXにて可）

(2) 申込先

〒689-1103 鳥取県鳥取市生山 111 鳥取県立鳥取工業高等学校 内 第63回中国高等学校登山大会事務局 熊田 岳史 宛 TEL : 0857-51-8011 FAX : 0857-51-8499 E-mail : kumada_tk@mailk.torikyo.ed.jp

(3) 申込方法

所定の様式により1部作成し、各県高体連登山専門部でまとめ、配達記録が残るものにて申し込むこと。その際に、大会負担金等の払込票の写しを同封すること。

(4) 申込期日

10月 6日（金）必着

6. 大会負担金等

- (1) 各県分担金 各 県 20,000 円
- (2) 大会負担金 1 パーティー当たり 25,000 円
- (3) 諸費用 1 パーティー当たり 45,000 円 (生徒+監督)
 ※1 パーティー当たり 36,000 円 (生徒+監督) ※3 人パーティー
 (1 人あたり、2 泊 3 日素泊まり 7,400 円、夕食弁当 800 円×2 日分)
- (4) 納入方法 下記口座に払い込むこと。振込手数料は参加者負担とする。

(振込先) 鳥取銀行 鳥取南支店 (店番 1 1 9)
口座番号 普通預金 0 0 9 4 1 7 7
口座名義 高体連 登山 吉井昌博 (コウタイレン トザン ヨシイマサヒロ)

- (5) 1 0 月 1 3 日 (金) までに欠場の通知がない場合は大会負担金の払い戻しはしない。

7. 組合せ

予報 2 号に掲載する。

8. 成績および表彰

- (1) 各コースごとに成績順位をつけ、公表する。
- (2) 団体男子、団体女子ともに上位 6 パーティーを表彰する。
- (3) 同点のパーティーがある場合には、審査区分の 行動、生活技術、知識、読図技術、マナー・自然保護 の順で得点の高いパーティーを上位とし、順位を確定する。
- (4) 上記 (3) でも同点のパーティーがある場合には、審査項目の 体力、歩行技術、装備、設営・撤収、炊事、天気図、課題テスト、計画書 の順で得点の高いパーティーを上位とし、順位を確定する。

9. 宿泊・炊事

- (1) 各コースとも幕営はしない。選手、監督共に高原の宿氷太くんでの宿泊とする。共同装備「テント」は持参する。(設営審査有)
- (2) 炊事審査は実施しない。すべて斡旋弁当とする。(炊事は付与点とする。)
 2 7 日 (金) 夕食、2 8 日 (土) 夕食の 2 食は斡旋弁当とする。それ以外の朝食、昼食(行動食)は各チームで準備すること。なお、火器を利用した炊事はできない。

10. その他

- (1) スズメバチ、マムシ、ダニなどがいるので、十分注意すること。
- (2) 大会山域には熊が出没することがあるため、熊除けの鈴を各パーティーとも少なくとも 1 つは用意すること。
- (3) 登山行動中のゴミはすべて持ち帰ること。
- (4) 管理者に迷惑となるため、テント場でのペグの試し打ちは決して行わない。
- (5) 上着、ザック、ザックカバー、雨具には学校名を下記のように明記すること。

	メインザック・サブザック・ザックカバー	シャツ・雨具	テント・フライ
大きさ	B 6 判大 (1 3 c m × 1 8 c m)	-----	-----
位置	背面中央	左 胸	-----
記名	県名・学校名	学校名	学校名
備考	県名 学校名 ザック・ザックカバー中央	学校名	-----
	選手・監督	選手	-----
	A・B 隊 各コース共通		

- (6) 各チェックポイント (C P) における規定時間は、予報 2 号以降 (監督・リーダー会議まで) に連絡します。ただし、気象状況や運営の都合等により当日変更となる場合があります。
- (7) 大会日程第 2 日目の監督隊の行動については、予報 2 号で連絡します。

運 営 規 則

(指揮系統)

1. 登山行動の責任者は、全体においては登山隊長、コースにおいてはコース隊長、班においては班長とする。
2. 登山隊長・コース隊長・班長に事故のあるときは、登山副隊長・コース副隊長、他の班長が代行する。
3. 幕営地到着・引継終了時より、登山隊各コース出発前・引継終了までは、すべて設営隊長の指揮下に入ることにする。

(緊急対策)

4. 緊急事態と認めた際は、各コースごとにコース隊長・同副隊長・班長で協議し、本部へ連絡、指示を受け、その後、監督・リーダー会議を開き、状況を説明し行動する。また、さらに緊急を要する場合には、コース隊長・副隊長・班長で合議し運営にあたる。事後すみやかに本部へ連絡する。

(救護対策)

5. 病気その他、事故の発生した場合はコース隊長・副隊長・班長・監督と協議し、本部へ連絡し指示を受ける。緊急を要する場合には運営規則4に従う。そのパーティーは、原則として全員同行動をとることとする。

(荒天対策)

6. 台風の接近や集中豪雨などの荒天についての対策は、本部の提出する資料と、設営隊長や各コース隊長よりの現地状態、意見の具申にもとづいて審査員会で検討した上、登山隊長が決定する。

(審査員会)

7. 審査員会は、審査員長・審査員で構成し、大会成績の処理、講評資料の作成ならびに表彰パーティーの選出を行う。

(資料提出)

8. 各コース隊長は、その属する班の各種資料を必要に応じて審査員長に提出する。

荒 天 対 策

原則として荒天対策はとらないが、やむを得ない状態になったときは、運営規則6により決定される。

救 護 対 策

緊急の場合は、運営規則4、5による。医師の診察等を必要とするときは、その地点より最も近い位置に下山させ、待機している車で病院に運び、医師の診察を受けさせる。

救 急 病 院

医療機関名	住所	電話番号
鳥取県中央病院	鳥取市江津 730	0857-26-2271
鳥取赤十字病院	鳥取市尚徳町 117	0857-24-8111
鳥取市立病院	鳥取市の場町 1 丁目 1 番地	0857-37-1522

3人パーティーでの中国大会参加に関する内規

1 参加要件

- (1) 3人パーティーでの中国大会への参加は、部員不足等で4名での参加ができないときのみ限り認める。その際、「3人パーティーエントリー理由書」を提出する。
- (2) 4人パーティーで県出場枠が一杯になった場合、3人パーティーは中国大会に出場できない。
- (3) 4人パーティーで中国大会の出場権を得たが、その後諸事情で3人パーティーしか組めなくなった場合は、3人での出場を認める。その際は「3人パーティーエントリー理由書」を提出する。変更の期限は大会受付時までとする。ただし、大会参加料には変更はないものとする。
- (4) 3人パーティーで県予選を突破したが、その後4人でパーティーが組める状況になった場合は、4人での参加を認める。ただしそのメンバーは、予選を通過したメンバーと同等の体力・技術等を持っているメンバーであること。変更の申し出は大会要項に定める欠場申し出期日までとし、理由書を大会受付時に提出する。

2 成績評価基準

- (1) 成績評価基準は4人パーティーと共通とする。
- (2) 3人パーティーは天気図作成を1名で、気象知識、救急知識、自然観察の3つのテストを2人で、チームとしてすべて受けることができるものとする。その際、受けることのできるテストの組み合わせは事前に検討し、要項に明記する。

令和5年度中国高等学校登山大会成績評価基準

5 県委員長会議にて審議・改正

登山部報 66 号「審査基準と指導目標」、「全国高等学校登山大会審査確認事例」、「チーム行動について」、「班離脱・隊離脱・行動離脱・棄権についての整理・確認」および「登山大会服装規定」を基本として審査を行う。ただし、これによらない部分等について、以下に※で定める。

区 分	審 査 項 目	配 点	備 考
I 行 動	1 体力	40 点	※体力 40 点、歩行 10 点からの減点方式で採点する。3人パーティについては、それぞれに 3/4 を乗じたものから減点する。 ※行動離脱(自力歩行不可、支援を受ける) → 体力・歩行技術ともに 0 点 ※注 ※隊離脱(隊から離れてコース隊長の後ろを自力で歩く、制限時間を越えた場合) → 体力 4 点、歩行技術 1 点 ※チェックポイント(CP)の設置箇所・制限時間・規定時間は、大会要項等に明示する。
	2 歩行技術	10 点	
II 生 活 技 術	1 装備	5 点	※予備食はパーティー人数×1食分以上とする。 ※地図は大会実行委員会から配布されたものを携行する。 ※服装は長袖着用とする。
	2 設営・撤収	5 点	※設営人数はパーティー人数とする。
	3 炊事	5 点	
III 知 識	1 天気図	4 点	※天気図作成は録音または読み上げによる一斉聞き取り方式で行い、制限時間は放送終了20分後までとする。
	2 課題テスト		(1)、(2)、(3)に共通課題テスト2点分を含める。 (予報1号より、大会山域に関する基礎的な知識を問う。)
	(1)自然観察課題テスト	4 点	
	(2)救急課題テスト	4 点	
	(3)気象課題テスト	4 点	
3 計画書	2 点		
4 行動記録	2 点	事前に統一冊子を配付する	
IV 読 図 技 術		10 点	地図を読む力があれば解ける場所にポイントを付ける。
V マナー・自然保護		5 点	

※注 行動離脱の段階で、そのパーティーのすべての審査を打ち切り、順位をつけない。それまでの審査は大会運営に支障がない場合に有効とする。行動離脱の判断は、コース隊長が行う。

審査からの連絡事項

- 本大会の食事については、次のとおりとします。したがって、「炊事審査」は行わず、「炊事」(5点)は付与点とします。計画書『食料計画・献立』における『27日(金)夕食/28日(土)夕食』の欄には『大会支給の弁当』と記載してください。
10月27日(金) 夕食…弁当支給
10月28日(土) 朝食…各自で準備
昼食…行動食(各チームで準備)
夕食…弁当支給
10月29日(日) 朝食…各自で準備
- 個人装備として「携帯トイレ」を持参してください。また、各パーティーに1つ以上「熊鈴」を用意し、登山行動中は身に付けてください。